



持続するまち、 旅しない水。



ペットボトルに詰められた天然水は、
どこからどれくらいの時間をかけて、旅して来ているのでしょうか。
その1本が手元に運ばれてくるまでには、
大量に国内外のエネルギー資源が使用されているかもしれません。
たいせつな資源を、最小限に使うサイクルを考え、
私たちは「Ozu Refeel Water」をはじめました。

多くの人がマイボトルを利用すれば、もっと多くのペットボトルが削減されます。
大洲近隣の水をもっと大洲で飲むことができれば、
輸送に必要なエネルギー資源を抑えることにつながります。
持続するまちとして、山々に囲まれたまちとして、
四国山脈の美味しい水を皆さんに飲んでいただきたいという思いから、
城下町にウォーターサーバーを設置しました。

